

# コミュニティバス改善に向けた意見交換会（立花地区）

2010年11月25日 14:00～ 立花地区交流センター

## 前回5月の地域公共交通意見交換会の簡単な説明と現状分析の報告

- ・平成21年度に県立中部病院が開業されたことにあたってルートが変更した。
- ・1年間運行して思ったより利用者が伸びない。
- ・中部病院に直接つないだことによってどうしても経費がかかった。
- ・経費にかかる運賃収支率3割にも満たない。  
- 5月から11月までの間 市とNPOと事業者と検討を続け、利便性と経済性の両面から検討し、継続的な仕組みを構築するというコンセプトのもとに、改善案を作成した

### 乗降調査結果

(実施日:2010年7月12日～16日 4日間)  
立花の乗降が多かったところ = 生協団地、珊瑚橋。

中部病院(週4日運行)は乗車8人、降車20人、計28人と一定程度は乗っていても病院があるわりにはそんなに乗ってないなという結果。

実際に東の方から西の方まで乗るという利用は全体の3%程度で、地域計画要望で中部病院を繋いで欲しいといっても、乗降人数はいない。中部病院の利用は予約の人が6割以上の為、中部病院というよりは身近なかかりつけ医に行っているようです。

朝の便から中部病院で降りて、飯豊の奥まで行く人はなかなかいないということで改善案を含まれています。

### 地域から乗る人はどこへ行くのか？

立花の方は、立花の中で降りている人が多いです。生協団地で乗って、及川医院の前の珊瑚橋で降りている使い方があります。半分ぐらいは黒沢尻で降りています。

### よく使われる時間帯

まちなかに向かう1便が22%、2便が61%。改善案のダイヤについてその辺も配慮しています。

### 利用者の特性

立花では女性が9割と多い状況。8割が70歳以上。他の地区と比べ、立花が一番平均年齢が高い状況です。更木の20歳未満の28%というのは、スクールバスとしても週2日使われていますので特殊な傾向が出ています。

### 利用目的

高齢の方が多いため通院が5割、その他が3割。立花は、買い物で使う割合が一番低くなっています。

### 利用頻度

立花は、週に2回という方が約5割。週1回という方が3割。比較的固定客の利用が多い。

### バス停から自宅までの距離

5分以内で4割。自宅前が6割くらい。バス停から近いと利用はしやすいのかなと思います。

### 収支予測

21年度の実績収支率28%。3割しかない収入を市役所としては5割に進めていきたいと考えています。

### 改善案(素案)

運輸局への手続きが2ヵ月前に必要な為、1月末に運行方針を決定したいと思います。

- ・幹線的区間（中部病院～黒沢尻2丁目、週4日運行）と支線区間（その他、週2日運行）に分ける
- ・運行は2ルートとし原則曜日変更なし  
飯豊立花黒岩線：月、木曜日  
二子更木線：火、金曜日
- ・同一ゾーン内での利用を100円から50円引き上げて150円へ。
- ・街なかのまわり方の変更 立花黒岩線 珊瑚橋～日高見～ロックタウンを經由する（4km延長）

### 意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました。

今までは珊瑚橋から街中に入っていたが、時間は何分プラスになるのか？

6分ぐらい

目標人数があるが、自然減、免許を返納などどう考えているか

公共交通はバスも電車も自然減になっていて、地域の皆さんから情報を意見交換会の中で頂きたい。

同時進行で何台走っているのか？

2台

立花を利用する人達は生協団地から珊瑚橋までと短距離。そこで100円から150円に上がると負担がかかるのでは。そのように思う方がいると想定していた。しかし、路線バスなどと比較するとそこまで高い値段ではない。これまでバス停の近くにある店などPRしてこなかったので、利用促進すること使い勝手を良くしていきたい。

北上橋を通るとロックタウンまで近くなり便利になる。

利用している年齢層が60歳以上が8割近くを占めている。通院が必要であるので、コミュニティバスが無くなるよりは、初乗り200円でもよりコミュニティバスが改善されることを期待する。他の地区の交流会でもそういう意見が出た。利便性維持、持続性を考えている。このような意見はありがたい。

祭日の運行はどうか

週1回は維持を考えている。

